



堂本元次(1923-2010)は京都市に生まれました。

1941年、京都市立絵画専門学校(現京都市立芸術大学)に入学し

日本画家を志しますが、2年後に繰り上げ卒業し出征。

幾度も死線をさまよい、広島で被爆するなど過酷な体験を経、

戦後、画家として歩みははじめます。堂本印象に師事するようになると、

師の影響を受け、現代的な風俗画や抽象画など、さまざまなジャンルに挑むようになります。

元次の画風に転機が訪れるのは、1979年に初めて中国を訪れてからです。

中国の素朴な風景に魅せられ、以後、同地に取材した作品を発表するようになります。

深い情熱を持ちながらも、それを抑制し穏やかな表現を展開させた作風が高く評価され、

1987年に日本芸術院賞を受賞し、日本画界の重鎮として確固たる地位を築きました。

本展では、戦後の代表作をはじめ、さらに学生時代の同級生である下村良之介や、

1930年代に新進気鋭の画家として活躍していた憧れの先輩田口壯の作品も紹介し、

戦中、戦後を生きた堂本元次の画歴を振り返ります。

出征直前の  
元次



## 第1章 元次芸術の基層

学生時代の作品の他、元次と交流のあった同級生や先輩の作品を紹介します。



堂本元次《海風渡る老松》1942年 東福寺退耕庵蔵

## 第2章 画家として出発

復員後、「死にそこなった」虚脱感と闘いながら画家となり

1951年に堂本印象の画塾東丘社に入ると、

師の影響を受けた作品を描くようになりますが

次第に独自色を打ち出していきます。



堂本元次《白壁の土蔵》1950年 京都府蔵  
(京都府京都文化博物館管理)

# 元次 堂本

### 特別展示

若き日の元次に大きな影響を与えながらも早世した二人。



吉岡茂夫《丘の樹》1941年  
京都市立芸術大学芸術資料館蔵



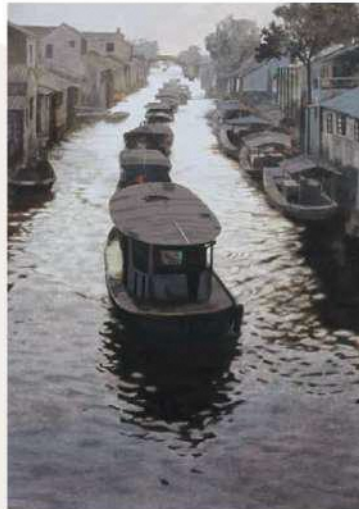
田口壯《喫茶室》1934年  
山口県立美術館蔵

## 第3章 独自の境地へ

1979年中国を訪れてから、中国風景を題材に新たな境地を切りひらきました。



堂本元次《炳靈寺の石佛》1991年 京都府蔵(京都府京都文化博物館管理)



堂本元次《水路を来たる》1997年  
京都府蔵(京都府京都文化博物館管理)



堂本元次《気満ちる山湖》1987年 京都市美術館蔵



堂本元次《回廊の門(青龍)》1996年  
京都府蔵(京都府京都文化博物館管理)



堂本元次《柳の交錯》1956年 京都府蔵  
(京都府京都文化博物館管理)

併催  
「第6回 野外彫刻展」  
2023年  
4月15日(土)～  
5月31日(水)  
[場所] 美術館庭園  
(入場無料)  
[主催] 京都府、  
京都彫刻家協会、  
京都府立堂本印象美術館



堂本元次《明日の夢》1971年 京都府蔵  
(京都府京都文化博物館管理)

ギャラリートーク  
2023年  
4月29日(土)、  
5月21日(日)  
[時間] 午後2時～  
[場所] 2階展示室

展覧会、  
関連イベント情報など  
随時更新

@DOMOTO\_Insho

@domoto\_insho



京都府立 堂本印象美術館

KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 Tel.075-463-0007 <https://insho-domoto.com>

新型コロナウイルス  
感染拡大防止のため、  
予定を変更する場合がございます。ご来館前に  
当館のホームページで  
最新情報をご確認ください。

交通のご案内

JR京都駅より市バス⑩、JRバス(立命館大学経由)  
JR円町駅より市バス⑩、JRバス(立命館大学経由)  
阪急電車烏丸駅より市バス⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱  
京阪電車三奈駅より市バス⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱  
市営地下鉄四条駅より市バス⑫、⑬、⑭、⑮

※いずれも「立命館大学前」下車  
駐車場はありません。公共交通機関を  
ご利用ください。お車の方は  
近隣のコインパーキングをご利用ください。